

8/14 荒井 イワナのつかみ取り



8/11 大庭 納涼祭



大庭 ぼんぼん



大庭 青山様



7/25 小柴 夏祭り



夏の行事



7/26 三の宮 夏の集い

7/26 中村 納涼祭



令和8年9月1日現在
世帯数 2,906世帯
男 3,106人
女 3,254人
総人口 6,360人



／ピンゴ大会／

7/25 北栗 納涼大会



／ヨーヨー釣りに挑戦／



7/31 南栗 こども夏祭り

／花火大会／



今後もうこうした地域活動を通じて、住民同士の交流の輪がさらに広がることを期待したいと思います。



また、練習や本番を通じて世代を超えた交流が生まれ、地域の絆を深める貴重な機会にもなりました。仲間とともに踊り、汗を流した時間は、参加者一人ひとりとって夏の思い出として心に残るものとなったでしょう。

参加者は堀米地区御柱の黄色い法被と手拭いを身にまとい、統一感のある姿で踊りの輪に加わりました。鮮やかな黄色の法被は遠くからでもひととき目を引き、沿道からは温かい声援や拍手が送られていました。厳しい暑さの中でしたが、参加者は笑顔を絶やすことなく、息の合った踊りで祭りを大いに盛り上げました。

松本ぼんぼん



「御柱堀米連」参加

8月1日(土)に開催された第52回夏まつり「松本ぼんぼん」に、今年も堀米町会の有志で結成された「御柱堀米連」が参加しました。

当日に向けて参加者は数回にわたり練習を重ね、本番では子どもから大人まで幅広い世代の約40名が参加しました。昨年を上回る人数が集まり、地域の皆さんの祭りへの関心と熱意が感じられました。

堀米町会裸祭り

長野県無形民俗文化財に指定されている、堀米町会・津島神社の「裸祭り」が、7月5日(日)、小学生26名の参加のもと執り行われました。

江戸時代中期頃に始まったとされる裸祭りは、かつてさらしのふんどし姿の男子児童が錦旗や幟(のぼり)を担ぎ、堀米町会全域を練り歩いていました。近年は、少子化や時代の変化、価値観の多様ななどを踏まえながら開催方法を工夫し、ふんどし姿から着衣へと変更されました。また、昨年から女子児童も参加し、熱中症対策として早朝に実施するとともに、巡回距離を短縮して行われています。

当日は、津島神社での参拝と玉串奉奠(ほうてん)の後、大幟を担いだ子どもたちが「おんやーさー」「もんやーさー」と元気な掛け声を響かせながら町会を練り歩きました。短い距離ではありますが、沿道の皆

さまから温かいご支援と声援をいただきました。

伝統行事を時代に合わせて受け継ぎながら子どもたちが地域の歴史や文化に親しむ貴重な機会となりました。こうした積み重ねが、地域の誇りを次の世代へとつないでいく力になっています。



季節の写真



マツムシソウ



アサガオ

池に咲くスイレン



ハケ岳農業大学の花畑

令和8年度ものづくり講習会の感想について

島立地区子ども会育成会教養部長 押野 岳洋

7月12日(日)に島立地区子ども会育成会教養部主催の「ものづくり講習会」を開催しました。今回は地域の小学生9名が集まり、「木を使った自由工作」に挑戦しました。講師には「もりのくらふと」代表の吉沢様、そして「寿さと山クラブ」事務局長の鈴木様のお二人をお迎えしました。責任者として安全面を一番に心配しておりましたが、お二人の丁寧できめ細かなご指導のもと、子どもたちは最初から目を輝かせ、驚くほどの集中力を発揮してくれました。

様々な形の木材の前に自由な発想で組み合わせを考え、講師にアドバイスをもらいながら、家やビー玉迷路など個性豊かな作品を次々と完成させていきました。出来上がった作品を誇らしげに見せてくれた子どもたちが、深く心に残っています。地域の先輩方との温かい交流を通じ、子どもたちが健やかに感性を育む姿を見守ることができ、大変実りある時間となりました。

島立三子森・社探険隊
島立自然体験学習チーム

8月6日(木)に朝日村へ体験学習に行ってきました。今回は、小学生23名が参加しました。

午前はヤマメのつかみ取りに挑戦。冷たい水の中で魚を追いかけて、腹かきや観察を楽しむ姿が見られました。自分で捕まえたヤマメを炭火で焼いて味わい、食育にもつながる貴重な体験となりました。

午後は民族資料館を見学。昔の道具や土器を間近で見たり、縄文村公園で自由遊びとスイカ割りを楽しみました。ダンボールを使った遊びでは、子どもたちが自由な発想で工夫しながら、思いっきり体を動かしていました。

一日を通して、ドキドキしながらもそれぞれの「やってみたい」に挑戦し、異年齢の仲間と協力したり応援する姿がたくさん見られました。遊びの体験を通じて、自主性や協調性を育む充実した一日となりました。活動を支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

